高等学校 令和８年度 教科　情報　科目 情報Ⅰ

教　科：情報　　科　目：　情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象年次：　1　年次　（再履修除く）

使用教科書：（　新編　情報Ⅰ　東京書籍　）

教科　情報　の目標：　情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

【知識及び技能】　情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法律・規則やマナー、個人が果たす役割や責任等について情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。

【思考力、判断力、表現力等】　様々な事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力や、問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。

【学びに向かう力、人間性等】　情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度を身に付けていること。

科目　情報Ⅰ　の目標：　情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 情報モラル等について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 情報モラル等について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会に適切に参画するために何ができるか考察する。	メディアの特性 情報モラル 情報社会の権利 情報技術の発展 私たちの生活の変化	【知識・技能】 情報モラル等について理解できる。 【思考・判断・表現】 情報モラル等について、それらの背景を科学的に捉え、考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報モラル等を踏まえながら、情報社会に適切に参画しようとしている。	○	○	○	8
	B コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 コミュニケーション手段の変化や情報デザインについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーション手段の変化で社会がどう変化したか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい情報デザインとは何か考える。	コミュニケーション手段の変化 ネットコミュニケーションの特徴	【知識・技能】 コミュニケーション手段の変化や情報デザインについて説明できる。 【思考・判断・表現】 コミュニケーション手段の変化で社会がどう変化したか考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 誰にでも伝わるデザインになるよう試行錯誤を行っている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2学期	B コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 コミュニケーション手段の変化や情報デザインについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーション手段の変化で社会がどう変化したか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい情報デザインとは何か考える。	アナログとデジタル 情報デザイン ユニバーサルデザイン	【知識・技能】 コミュニケーション手段の変化や情報デザインについて説明できる。 【思考・判断・表現】 コミュニケーション手段の変化で社会がどう変化したか考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 誰にでも伝わるデザインになるよう試行錯誤を行っている。	○	○	○	16
	C 情報通信ネットワークとデータの活用 【知識及び技能】 ネットワークの仕組みについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 通信技術の変化等について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 通信技術に進歩について考える。	ネットワークとインターネット インターネットの仕組み 通信技術の変化 情報セキュリティ データベースの活用 データの分析	【知識・技能】 ネットワークの仕組みを説明できる。 【思考・判断・表現】 通信技術の手段が変化したことで社会がどう変化したか考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 通信技術の進歩で今後社会がどう変化していくか考察しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3学期	D コンピュータとプログラミング 【知識及び技能】 プログラムを作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自身が意図した通りにプログラムが動かせるよう考察する。	フローチャート Python 順次処理 繰り返し処理 反復処理 配列 関数 アルゴリズム	【知識・技能】 フローチャートを基にプログラムを作成することができる。 【思考・判断・表現】 同じ処理のアルゴリズムを比較し、処理手順を評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 答えを導くためにどのようなプログラムを作成すればいいか考察しようとしている。	○	○	○	20
							合計
							70